

A Graphical Tanka Magazine

THEME

春恋

伊藤夏人

イマイ

こゆり

さかいたつろう

田中ましろ

中森つん

藤野唯

文月郁葉

ムラサキセロリ

rleco

うたたららば



0円
TAKE FREE

2010.06 vol.00




THEME

春恋

短歌はもつと、自由になれる。

伊藤夏人	・・・ 03
さかいたつろう	・・・ 05
こゆり	・・・ 07
ムラサキセロリ	・・・ 09
イマイ	・・・ 11
田中ましろ	・・・ 13
藤野唯	・・・ 15
文月郁葉	・・・ 17
r!eco	・・・ 19
中森つん	・・・ 21
編集後記	・・・ 25



春に恋するのが一番
良いでしょう風が強
いと尚良いでしょう

伊藤夏人

咲くことも散ること
もなく満開のあたし
は重たい女なんだね

さかいたつろう

恐れていたのは
立ち止まることでした

ゆっくりと満ちていく
春は底なし沼のようで

踏み出すことも逃げることも
できないままです

最後はきっと
神様のおまけ
奇跡みたいに天使みたいに
わたしとあなたを遠ざけた

もう二度と
悲しい恋などしないようにと

もう二度と
自分を駄目にしないようにと

まっつて、つて言葉も
届かないくらいあなた
たとあたしのないあなた
にさくらしのないあなた

2009

ひとりって
楽しいものだと思ってた

神様がくれたさよならだから
楽しいに違いないって思ってた

出遅れた春に
周回遅れの冬が混じるたび

すべてあなたを忘れるためと
心がきゅっと悲鳴をあげる

わたし世紀もつともさむ
い春が来た さよならな
んて習ってないのに

ムラサキセロリ

好きな人はいないと
首ふる十歳の髪にふ
れればうまれる光

イ
マ
イ

かたくなに
守ろうとするものが
たしかにあったことを
思い出す瞬間がある

黄身と白身を取り出した
たまごの殻みたいなわたしは
それでも自分を守ろうとして

いいんだよ、って言葉を
待っていたのかもしれませんが
ただそれだけで
救われたのかもしれませんが

はじまりのはじまりは
いつだって突然落ちてくる
わたしの薄い殻を
かんたんに突き破って

こころの奥の
さらにその奥のほうへ

力強い風が吹き込めば
空が見えた

恋が生まれる音が聞こえた

はじまると思つてなかつ
た潮風に揺らされている
菜の花なのはな

田中ましろ



望んでも望まなくても
守るべきものは増えてゆく

いま ゆっくりと
あなたが変わってゆくように

このさき
揺れて 揺れて
たどりつく場所にまた
悲しみが笑っていても

いまは見えないフリをする

しあわせへの道は
のぼって のぼって
最後は下っていくらしいから

ふるえつつ抱きしめ
あつた春のなか一緒に
酔ってもいいと思つた

藤野唯

去年から凍らせていた
告白がベビーピンクの
街で溶けそう

文月郁葉

たどりついた場所は
見覚えのある場所でした

花が咲き 鳥が鳴き
隣には あなた

もたれかかれればきっと
次のとびらが開くのでしょう

桜色に塗ったばかり
の指先があなたの髪
に絡まってゆく

rieco

あまりにも近い
わたしたちの関係が
ときどきふたりを不安にさせる

春だから、と
笑顔でのぼりきった坂道を
あと何回超えてゆけるのだろう

なんて

物憂げな顔をするわたしを
なだめるように
あなたは身を寄せる

そして未来の話をはじめ

春にはじまる恋の
きれいなところだけを
集めましょう

すこしだけ微笑んで
空気のように手をつないで
育っていくものがあるように

ずっと ずっと

待ち続けていた優しさのように

春を病み芽吹く気持ちに
水をやる係を君に任命し
ます

中森っん

編集後記

短歌という名のフィールドには、たくさんのルールとたくさんの価値観が存在します。「偉い歌人の先生を選んだから良い歌だ。」それはたしかにひとつの物差しでしょう。でも、短歌など知らずに生きている人にとって、偉い歌人の先生を選んだかどうかなど、きつとどうでもいいこと。短歌の理屈なんて知らなくたって、ただ純粹に、見て楽しんで共感して、素敵だねって言える。僕が目指すのはそんな気楽な短歌雑誌です。文学だなんて言い張るつもりもないし、芸術だって言い張るつもりもない。肩肘張らずに短歌を楽しんでいる姿を見て、短歌でもやってみようかと思ってくれる人があらわれたなら、それがたぶん僕の幸せです。

企画・構成・写真・誌面デザイン
田中ましろ



春

恋

春

恋

春

恋

春

春

恋





Project Uta-Lover

<http://www.utalover.com/>

短歌の募集は随時行っています。
お気軽に上記 URL よりご投稿ください。
投稿短歌より写真作品を制作し、
次号に掲載させていただきます。

うたらばvol.00【春恋】

<http://p.booklog.jp/book/38858>

企画・詩・紙面デザイン：田中ましろ@うたらば
プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/utalover/profile>

※本誌は電子書籍用に最適化された冊子ではありません。
正式PDF版は下記URLでご確認ください。
<http://www.utalover.com/pdf/utalover00.pdf>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/38858>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/38858>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.